

災害支援・教育復興にむけて

つなぐ



日教組災害対策本部

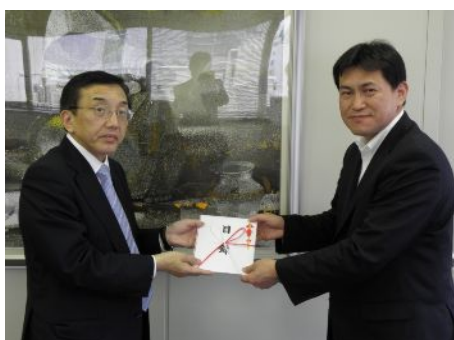
〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

HP:<http://www.jtu-net.or.jp/>

## 被災地へ義援金を送る ～千葉～

5月10日、小西中央執行副委員長が、千葉県へ義援金を届けました。情報交換も行い今後の支援のあり方について話し合いました。以下は話し合われた内容の一部を紹介します。

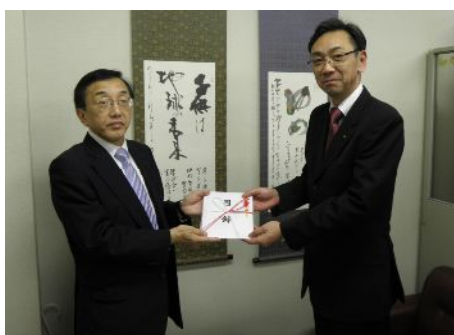


【千葉県教組佐久間委員長(右)】

千葉県では、液状化が悩ましい問題となっている。千葉県教組では、被災者に見舞金を出す規定があったが、液状化に関してはなかった。今回、全壊・半壊などの基準を見直し、液状化についての規定ができたことにより支援ができることになった。

しかし、利根川沿いの液状化はひどく、ある中学校は2つの校舎がくっついていたのですがそれが割れてしまい、現在の隣の小学校に入っている状況もある。

福島を中心に避難をしてきた子どもたちが、小中高生合わせて700～800人ほどいる。現在子どもたちのためになにができるかを検討している。



【千葉高教組榮永委員長(右)】

水産高校が合併した銚子商業の水産校舎が被害を受け、実習船が流出したり、停電により魚がすべて死んでしまったりしている。県教委の調べでは、高校130校のうち100校が何らかの被害があるとしている。内房の京葉工業地帯周辺は埋立地で、その部分の高校が数校、地盤沈下をしている。

高教組としては、岩手高教組に3回支援物資を送ったり、個別に大船渡中学校の避難所や高田高校にも物資を直送したりしている。今後は、宮城の気仙沼高校に辞書とシャープペンシルの芯を送る予定になっている。これからもできる限り支援をしていきたい。

## 第6次災害救援ボランティア結団式

第6次の災害救援ボランティアのメンバーが、5月10日(火)に被災地に向け出発しました。

今次から、ベースキャンプ(BC)が被災地域に近い場所に変更になりました。新しいBC(岩手県気仙郡住田町「五葉集会センター」:旧五葉小学校を改築)から被災地域まで20分程度で移動できるようになり、活動時間を今まで以上に確保することができるようになりました。

